

小金井市公共施設在り方・再編方針（案）に対する意見及び検討結果について（概要）

小金井市市民参加条例第15条の規定による小金井市公共施設在り方・再編方針（案）に対する市民提言制度（パブリックコメント）を実施した結果について下記のとおり公表します。

なお、お寄せいただいた御意見と検討結果については、小金井市ホームページに掲載して公表するほか、企画政策課（市役所本庁舎2階）、広報秘書課広聴係（市役所第二庁舎1階）、情報公開コーナー（同6階）、公民館各館、図書館（本館）、東小金井駅開設記念会館、婦人会館、保健センター及び総合体育館で御覧いただけます。

記

1 施策の名称 小金井市公共施設在り方・再編方針（案）

2 意見の募集方法

(1) 意見募集期間 令和8年1月23日（金）から2月24日（火）まで

(2) 意見提出方法 直接持参、郵送、ファクス又は申込フォーム

3 意見の提出状況

(1) 提出人数

区分	直接持参	郵送	ファクス	申込フォーム	計
個人	1人	—	1人	5人	7人
団体	—	—	—	—	—
計	1人	—	1人	5人	7人

(2) 延べ意見数 22件

(3) 意見内容の内訳

ア 第1章 3件（方針全体…3件）

イ 第2章 4件（本市の現状…2件、公共施設等総合管理計画…2件）

ウ 第3章 11件（公共施設が目指すビジョン…5件、エリア別の公共施設の再編…6件）

エ 第4章 3件（集約・複合化の方向性…2件、学校施設について…1件）

オ その他 1件（新庁舎・（仮称）新福祉会館建設…1件）

4 寄せられた意見と検討結果

別紙のとおり

5 問合せ先

小金井市企画財政部企画政策課企画政策係

電話 042-387-9800

FAX 042-387-1224

E-Mail s010199@koganei-shi.jp

小金井市公共施設在り方・再編方針（案）に対する意見及び検討結果について

意見募集期間：令和8年1月23日（金）から2月24日（火）まで

意見提出数：7人・22件

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
1	第1章 公共施設在り方・再編方針について (1ページ)	「小金井市公共施設在り方・再編方針（案）」と同様に、市民懇談会に出席した際に配布された「小金井市公共施設在り方・再編方針（案）」に係る市民懇談会」も広く公開すべきだと考える。 どちらもよく検討され見易いレイアウトで作成されているが、前者「小金井市公共施設在り方・再編方針（案）」をより市民向けにまとめて背景も分かりやすく解説した後者も可能な限り市民の目に触れられるべきである。	市民懇談会で配布した資料につきましては、本方針（案）の理解を深めていただくため、現在、当日配布資料及び本方針（案）の概要説明動画を市ホームページにおいて公開しております。 今後も、市民の皆様に分かりやすい情報提供に努めてまいります。
2	第1章 公共施設在り方・再編方針について (1ページ)	1月以降、数多くのパブリックコメント募集が乱発され、心ある市民にとって、十分に素案を読み込む時間もなく、あまつさえ市民説明会も一度しか開かれず、大変残念な思いをしています。説明会があれば是非とも質問したいことが沢山ありました。	本方針（案）に関する市民懇談会につきましては、当初2回の開催を予定しておりましたが、衆議院議員選挙の関係で1回の開催となりました。 また、説明会に参加できなかった方に向けて、当日配布資料及び本方針（案）の概要説明動画を市ホームページに掲載しております。
3	第1章 公共施設在り方・再編方針について (2ページ)	本方針案は、将来にわたって持続可能な公共施設サービスの提供を目指す上で、施設の現状と課題を整理し、再編の方向性を示すものとして、よく整理されており高く評価されますので、今後は小金井市にありがちな「よく出来た包括的な方針」（絵に描いた餅）と「実行結果」の乖離を生まぬよう、PPP/PFIを活用した「具体的な施設計画の策定」と「実	本方針（案）は公共施設全体の方向性を示すものです。一方で、実効性を確保するためには、具体的な取組への展開と進捗の確認が重要であると認識しております。 本方針（案）では、公共施設の整備・運営に当たり、民間事業者のノウハウや資源を活用した官民連携を推進することとしており、施設ごとの特性や利用実態を踏まえなが

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
		<p>行中施策」の相互反復、検証報告も提示してほしい。</p>	<p>ら、実施可能な連携手法を検討し、効率的で魅力ある公共サービスの提供を目指すこととしています。</p> <p>また、再編に向けた取組については段階的に検討を進めるとともに、毎年度その進捗を確認し、必要な見直しを行うこととしております。今後もこうした仕組みに基づき、取り組んでまいります。</p>
4	<p>第2章 本市の現状と小金井市公共施設等総合管理計画 (6、12ページ)</p>	<p>P6、P12に示されている人口推計および児童数の予測値について確認です。</p> <p>現在、東小金井駅前および武蔵小金井駅前、旧公務員住宅跡地などで大規模マンションの開発が進んでいますが、これらの住宅供給による人口増加分は、当該推計値に反映されているとの理解でよろしいでしょうか。</p> <p>特に、戸数規模や入居時期が一定程度見通せる案件については、将来人口や児童数に与える影響を定量的に補正しているかどうかを明示いただきたいと思います。</p>	<p>本方針(案)でお示ししている「総人口の推移と将来推計人口」は、出典元である「第五次基本構想・後期基本計画(案)」に付属する『小金井市人口ビジョン(案)』に基づくものです。</p> <p>『小金井市人口ビジョン(案)』では「現時点で予定されている、再開発等の住宅開発による人口増の影響についても考慮し推計しています。」と明示させていただいております。</p> <p>また、「児童・生徒数の推移及び将来予測」につきましては、「小金井市学校施設長寿命化計画改定版(案)」に基づくものです。</p> <p>この推計は令和8年度から令和12年度までを住民基本台帳に基づく市の推計で作成しており、令和13年度からは小金井市人口ビジョン(令和7年から令和42年)に基づく推計となっています。今後も児童・生徒数等につきましては注視した上で再編を検討してまいります。</p>
5	<p>第2章 本市の現状と小金井市公共施設等総合管理計画(12ページ)</p>	<p>学校の児童数については、将来的に減少に転じる可能性が示されています。しかし、児童数の推移と学童保育の利用児童数は必ずしも比例するものではありません。</p> <p>実際に、本市においても学童保育の利用児童数は増加傾向にあり、全国的にも共働き世帯の増加を背景として利用率は</p>	<p>本方針(案)は公共施設全体の方向性を示すものです。そのため、個別施設の具体的な需要推計を行うものではありませんが、今後の施設整備の検討に当たっては、各施設の将来需要も踏まえた検討を行ってまいります。</p> <p>市立小学校の児童数と学童保育の利用児童数は必ずしも</p>

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
		<p>上昇しています。ある地方自治体では全児童の7割以上が学童を利用している例もあり、人口が横ばいまたは減少局面にあっても、学童需要は増加し得ることが示されています。</p> <p>したがって、学校児童数の将来推計のみを前提として施設規模を判断するのではなく、学童利用率の上昇を織り込んだ需要推計を行うことが必要ではないでしょうか。</p>	<p>比例しないとのこと指摘については、ご意見のとおり、保護者の就業状況の変化等を背景に、児童数の動向とは別に学童保育の利用率が上昇する傾向があることは認識しております。</p> <p>本方針（案）において市立小学校の児童数の推移を示しているのは、学校施設が市内建築系公共施設の大きな割合を占めており、その更新需要や施設規模を見通す上で基礎的な指標となるためです。</p>
6	<p>第2章 本市の現状と小金井市公共施設等総合管理計画（19ページ）</p>	<p>基本目標にある総量抑制と更新費用及び維持管理費の縮減への努力は誰が見ても当然で、基本的な3つの考え方にも異論はありません。</p> <p>ただ、市民目線からは、現状の公共施設が、総合管理計画（R3年度改定）以降、この基本目標にそって、どのように実行されたのか、実行されていないのかを検証していただきたいです。</p> <p>市民にとっては、「〇〇計画に△△と書かれている」ことより、ある日突然当てにしていた公民館での市民活動が空調不具合で使用できなくなったり、4年間もかけて公立保育園5園を、公共施設として子育て支援施設として全園残してと主張してきたのに、2園が2年後廃園になるのが決まってしまう…と理不尽なことばかりです。現に、廃園に向け、0、1、2才児募集と定員の縮減により、育休明け1才児の4月以降の待機児が100人を超えようとしています。このことを、この事案にたずさわっている市職員や理事者はご存じですよ。あきらかに、基本的な考え方3 市民サービスの向上にはなっていませんよ。</p>	<p>本市では、「公共施設等総合管理計画」に基づき、「総量抑制」及び「将来更新費用・維持管理費の縮減」を基本目標として取組を進めています。また、建築系公共施設の各施設の現状を踏まえ、今後の計画的な維持・更新の実施体制を構築するため、個別施設計画を策定しています。現在策定を進めている「公共施設在り方・再編方針（案）」は、総合管理計画を補完し、地域全体に必要な機能を将来にわたり確保する観点から、公共施設再編の方向性を整理するものです。</p> <p>一方で、公民館の空調不具合など、市民活動に支障が生じている現状については重く受け止めております。本市の建築系公共施設では老朽化が進んでおり、計画的な対応が大きな課題となっています。限られた財源の中、優先度を見極めながら対応を進めているところです。</p> <p>また、市立保育園の再編については、「施設の老朽化」、「出生数の減少に伴う定員適正化」、「限られた人員と施設の最大限の活用」、「難度の高い保育」や「地域の子育て支援拠点」としての役割の確保という観点から判断したものです。これは、個別園の存廃のみを目的とするものではなく、市</p>

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
			<p>全体の保育の質を維持・向上させることを目的としています。</p> <p>令和8年4月時点の待機児童数につきましては、現時点では確定しておりません。今後の状況を注視しながら、民間園との利用定員の調整など、適切な対応を行っていく考えです。</p>
7	<p>第2章 本市の現状と小金井市公共施設等総合管理計画（21ページ）</p>	<p>市全体としての公共施設の全体最適化の視点から……公共施設が目指すビジョンの共有が必要…とありますが…。</p> <p>古くから住む市民にとって、新庁舎建設の迷走ぶりは、目にあまるものがあります。しかも、秋口（何号か忘れましたが）市報にトピック扱い庁舎入札が不調だったとの5行位の記事がのっていたのには正直驚きました。「え！！トピックかよ～！！」と思わず手にしていた市報を投げ出しました。新庁舎建設に対して、どれだけの市民が（ごく一部に思われようと）心を痛め、市職員が汗をかいてきたことでしょうか。この扱い方はないでしょう。これでは目指すビジョンの共有などできるはずもないと正直思っています。</p> <p>なぜ、この素案にもあるように、財源不足のなか、新庁舎建設プラン、その大巾な見直しをしないのか？</p> <p>他の様々な市の計画との整合性を考えればDX推進などで対面式サービスが大巾に縮減できれば庁舎の広さも縮減でき、そのかわりに対面対人で直接やる事業を拡大できるし…といろいろな工夫をし、将来へツケを回さない財政運営ができると思うのですが、いかがでしょう。本事業は、あくまで方針という抽象的なものなので、触れられていないのでしょうか？</p>	<p>本方針（案）は公共施設全体の方向性を示すものです。そのため、個別の施設の設置計画を定めるものではありません。</p> <p>新庁舎・（仮称）新福祉会館建設につきましては、建設資材高騰、働き方改革や技術者不足による人件費単価の高騰による工事費の高騰及び建設工事の発注量増加等の建設市場の動向により、全国的に公共工事の入札中止が増加しています。本市においても施工業者を選定するための入札が2回に渡り中止となりました。</p> <p>引き続き、建設市場の動向を注視し、早期建設を目指して現設計による3回目の入札に向けた準備を進めてまいります。</p>

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
8	<p>第3章 これからの公共施設が目指すビジョンとエリア別の公共施設の再編（24ページ）</p>	<p>上位計画の「公共施設マネジメントの構築に向けて」においては、総量抑制、民間活力の活用、資産の有効活用の3つが方針として示されています。</p> <p>しかしながら、上位計画および本方針のいずれにおいても、それらの優先順位や適用条件が明確に示されていません。具体的に、どのような状況にある施設を優先的に再編対象とするのかが記述されておらず、実行性に欠ける印象を受けました。</p> <p>例えば、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化の程度 ・維持管理費の水準 ・稼働率や利用実態 ・代替可能性の有無 <p>など、客観的指標に基づく優先度の整理が必要ではないでしょうか。</p> <p>優先順位が示されないままでは、個別判断が場当たり的になりかねません。再編の基準および優先度の明確化を求めます。</p>	<p>本方針（案）では、再編の検討に当たり、施設の老朽化状況、利用実態、運営コスト、機能の妥当性、代替可能性など、複数の観点から施設を評価した上で、優先順位を整理しながら段階的に進めていくこととしています。</p> <p>ご指摘のような客観的指標の視点も、こうした評価の中に含まれるものと考えております。</p> <p>また、総量抑制、民間活力の活用、資産の有効活用といった考え方は、個別に優劣を付けるものではなく、施設の状況や地域特性に応じて総合的に判断していくべき視点として整理しているものです。</p> <p>今後の具体的な検討に当たっては、これらの観点に基づき、優先度を整理しながら、計画的に再編を進めてまいります。</p>
9	<p>第3章 これからの公共施設が目指すビジョンとエリア別の公共施設の再編（25ページ）</p>	<p>本素案がタイトルにあるように「方針（案）」ということなので、かなり「絵に描いたモチ」的なふわっとしたものになっていますが、それにしても、1-1. これからの公共施設が目指すビジョンの⑥にある、行政が担うべき公共施設・サービスの場にある「民間事業として成立する事業に関しては民間に委ね……」とある事業は何を示し、「……行政が実施するにふさわしい場として設置していきます。」とある。行政が担うべき事業とは何を示すのでしょうか？</p> <p>一日の大半を小金井市ですごしている高齢市民にとって</p>	<p>本方針（案）において示している「民間事業として成立する事業に関しては民間に委ね」との考え方は、公共施設の整備・運営に当たり、民間事業者のノウハウや資源を活用して、民間主体によるサービス提供が可能な事業について、その可能性を検討するという趣旨です。</p> <p>一方で、「行政が実施するにふさわしい場」とは、法令に基づき行政が担うべき役割を有するものや、公益性・公平性の確保の観点から、行政が担うことが適当と考えられる分野を想定しています。</p>

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
		は、とりわけ市公共施設はライフラインとつながり極めて具体的な事柄です。	いずれもあらかじめ一律に区分するものではなく、施設の特性や地域の実情等を踏まえ、個別に総合的な判断を行うことを基本としています。
1 0	第3章 これからの公共施設が目指すビジョンとエリア別の公共施設の再編（25ページ）	ビジョンについては、その通りだと思う。	ビジョンについては、市全体としての公共施設の全体最適化の視点から、限られた財源や資産を有効活用し、必要な市民サービスを確保するためにこれからの公共施設が目指すビジョンの共有が必要と考え整理したものです。 今後の公共施設の再編に当たっては、ビジョンを踏まえながら検討を進めてまいります。
1 1	第3章 これからの公共施設が目指すビジョンとエリア別の公共施設の再編（26ページ）	イメージについては、図を入れて、よりイメージしやすい内容にして欲しい。	イメージに図を入れることについては、公共施設在り方検討委員会の検討においても同様のご意見をいただいています。ご意見をふまえて、図を入れ、よりイメージしやすい内容になるよう追記させていただきます。
1 2	第3章 これからの公共施設が目指すビジョンとエリア別の公共施設の再編（26ページ）	市民ワークショップの意見を反映していただき、意欲的な内容だと思います。しかしながら、「イメージ」については、施設の職員が、見守るだけで、人が自然につながっていくという、極めて楽観的な内容になっており、認識が甘いと言わざるを得ません。問題は「建物」や「施設」「定義」だけでなく、人々の関係性を耕す{東大牧野先生の表現です}(つまりつながりたいときにつながれる関係性の下地が人々の間に醸成されている)のは、やはりお節介な「つなぎ人」の存在です。人々を観察しながら、地域のつながりの人脈と、知識、共感力やコーディネート力・ファシリテーション力に優れた方がいないと、こういうイメージは実現しません。その必要性の認識が抜けているのではないかと心配になりました。施設を今まで通り運営していれば、関係性は出来	ご指摘のとおり、公共施設が目指す機能や役割を実現するためには、建物の整備だけでなく、運営や人材の在り方を含めた取組が重要であると認識しております。地域のつながりを育むためには、コーディネーターやファシリテーション等の役割を担う人材の存在や、市民主体の取組を支える仕組みが重要であるのご指摘は、考慮すべき視点であると受け止めております。 本方針（案）は、主として公共施設の配置や機能の方向性を示すものですが、施設と運営が一体となってはじめてその目的が達成されるものであると考えております。個別施設の具体的な運営の在り方を検討する際には、いただいたご意見も踏まえ、検討してまいります。

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
		<p>上がる。それは施設の責任ではないと腰がひけていないでしょうか。施設と人が合わさって初めて目的が達成されるもので、これからの公共施設はそうした、緩い関係性を作り出す、仕掛け人が必要で、施設とソフトが一体になったものでなくてはなりません。社会教育の観点から運営に関しても市民で運営の会議や作戦会議が必要です。そのプロセスの必要性や地域や市民の主体性や協働性を喚起する施策でなくてはならない。施設の在り方であるのですから、そのソフト面での「人財」の必要性をしっかりと言及すべきと考えます。</p>	
1 3	<p>第3章 これからの公共施設が目指すビジョンとエリア別の公共施設の再編（27ページ）</p>	<p>本計画では「エリア特性」という新たな論点に加えられ、ワークショップの実施等が示されています。しかし、計画文書全体を通して見ると、新たな戦略や実行体制の明確化というよりも、論点の追加にとどまっている印象を受けます。</p> <p>市民参加は重要ですが、単発のワークショップの実施をもって十分とするのではなく、実行段階において継続的に対話を重ね、その結果を具体的な判断や修正に反映させる仕組みを明確にすることの方が重要ではないでしょうか。</p> <p>計画段階での参加の有無よりも、執行の中に市民との対話プロセスを組み込むことを求めます。</p>	<p>本方針（案）は、エリア特性の視点を踏まえた再編の方向性を示すとともに、段階的に検討を進める考え方や進捗管理の仕組みについて整理しているものです。</p> <p>公共施設の再編に当たっては、エリアごとの特性を踏まえながら検討を進めることとしており、ワークショップの実施は、その具体的な手法の一例として示しているものです。市民参加は単発の取組にとどまるものではなく、検討の過程において必要に応じてご意見を伺いながら進めていく考えです。</p> <p>また、再編に向けた取組については段階的に進めるとともに、毎年度その進捗を確認し、状況に応じた見直しを行うこととしています。</p> <p>今後も、具体的な取組の推進に当たっては、市民との対話の機会を意識しながら、検討を進めてまいります。</p>
1 4	<p>第3章 これからの公共施設が目指すビジョンとエリア別の公共施設</p>	<p>さくら保育園があげられていますが、廃園してしまいますよね。この素案の方針に基づいてR8年度以降5年ごとの次期公共施設等総合管理計画が定められていくのだろうと推測しますが…さくら保育園を今後どうするのですか？</p>	<p>本方針（案）は公共施設全体の方向性を示すものです。そのため、個別の施設の設置計画を定めるものではありません。</p> <p>さくら保育園については、小金井市立保育園の在り方に</p>

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
	の再編（29ページ）	P25にある目指すビジョンによる活用の方向性は、上記管理計画で示されるのでしょうか？子どもと保護者の裁判までした大きな犠牲の上に決行された廃園です。今後の「公共施設等総合管理計画」を注目していますよ。	関する方針のとおり、令和10年度末をもって閉園します。 さくら保育園の跡地利用については、小金井市公共施設等総合管理計画及び小金井市立保育園の在り方に関する方針において、「これまで長い間、本市の子どものために活用してきた経過を踏まえ、将来を見据えて活用方法を検討する」と定めています。
15	第3章 これからの公共施設が目指すビジョンとエリア別の公共施設の再編（30ページ）	市民文化系施設の婦人会館は、1966年に市民の寄付によって？（伝聞です）女性のための活用を条件に建てられたと聞いています。参考資料P63には、エリア別建築年別公共施設としてのつていますが、P57～62のヒアリング結果概要には記載がありません。なぜですか？男女共同参画推進の視点から「女性談話室」事業としてあげられている公共施設なので、取り上げられていない理由を知りたいです。	本方針（案）の参考資料に掲載されているヒアリング結果概要において、婦人会館の名称が個別に記載されていないのは、婦人会館が「集会施設」という施設類型に含まれて整理しているためです。 本方針の策定にあたっては、建築系公共施設を所管する各課に対してヒアリングを実施し、施設類型ごとの課題や要望を取りまとめました。したがって、個別施設名ではなく「集会施設」として一括して記載しております。
16	第3章 これからの公共施設が目指すビジョンとエリア別の公共施設の再編（32ページ）	中町天神前集会所は、もともと南エリアの児童館のため用地買収された土地だと聞いています。野川（今は干上がっていますが）もごく近く、集会所機能もあわせもつ子育て支援系施設を作りませんか？	一・小・南小地区児童館整備事業につきましては、整備を含めた児童館の在り方を踏まえた対応を行うとともに、現有する天神前集会所との関係を整理等行っていく必要があります。引き続き検討を行ってまいります。
17	第3章 これからの公共施設が目指すビジョンとエリア別の公共施設の再編（33ページ）	廃園されてしまうくりのみ保育園はどうなるのでしょうか？5か年計画にどう盛り込まれるのか注視しています。	本方針（案）は公共施設全体の方向性を示すものです。そのため、個別の施設の設置計画を定めるものではありません。 くりのみ保育園については、小金井市立保育園の在り方に関する方針のとおり、令和9年度末をもって閉園します。 くりのみ保育園の跡地利用については、小金井市公共施設等総合管理計画及び小金井市立保育園の在り方に関する方針において、「これまで長い間、本市の子どものために活

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
			用してきた経過を踏まえ、将来を見据えて活用方法を検討する」と定めています。
18	第3章 これからの公共施設が目指すビジョンとエリア別の公共施設の再編(35ページ)	<p>新庁舎と(仮称)新福祉会館は、行政・福祉総合拠点と位置付けられていますが……、とりわけ(仮称)新福祉会館は、新庁舎建設の入札不調の影にかくれて、あまり話題にのぼっていないのですが、どうなるのでしょうか。それこそ、現時点での福祉会館の具体案(少なくとも福祉拠点としての機能)は整理され、市民にわかりやすく提示される機会はあるのでしょうか？</p> <p>あわせて女性センターはどうなりますか??男女共同参画行動計画では20年来求められているのですが…。</p> <p>長くなるのでここまでとしますが、市民にとってどれも大切な公共施設について、具体的な市民生活の助けになることを念頭に、行政努力を積み上げていってください。</p>	<p>本方針(案)は公共施設全体の方向性を示すものです。そのため、個別の施設の設置計画を定めるものではありません。</p> <p>本市では、新庁舎と(仮称)新福祉会館を同一敷地内に建設し、「行政・福祉総合拠点」として整備する方針です。</p> <p>(仮称)新福祉会館の現時点での具体案については、社会福祉協議会(地域福祉)、保健センター(保健衛生)、こども家庭センター(母子保健・子育て・子育て支援)、シルバー人材センター(高齢者支援)、福祉共同作業所(障がい者支援)といった多岐にわたる機能を整理・集約しています。あわせて、多目的室やマルチスペース、家事実習室など、市民の皆様が世代を超えて交流し、活動できる空間も確保する計画です。</p> <p>なお、(仮称)新福祉会館に関する計画等については市ホームページにて掲載させていただいております。</p> <p>(仮称)男女平等推進センター整備については、小金井市第7次男女共同参画行動計画(案)において示しておりますとおり、他の公共施設の検討の機会を捉え、(仮称)男女平等推進センターの在り方について検討するとともに、他自治体におけるセンター機能等情報を踏まえて設置に向けた検討を進めてまいります。</p>
19	第4章 公共施設の再編の方向性(39ページ)	<p>集約化・複合化の方向性について、既存施設の利活用方針は良いので、集約化される施設や今後廃止予定の市立保育園の底地を活用し、PPP/PFIを利用して、容積率緩和によって民間介護福祉施設を誘致するなど、民間による建設投</p>	<p>本方針(案)は公共施設全体の方向性を示すものです。そのため、個別の施設の設置計画を定めるものではありませんが、公共施設の再編に当たり、民間活力の活用や多様な事業手法の可能性についても検討していくこととしてい</p>

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
		<p>資資金を活用して、学童保育施設、地域交流センターを併設するなど小金井市が保有する「土地」という貴重な財源を活かした具体的な公共施設設置計画を策定してほしい。</p>	<p>ます。PPP/PFIなどの手法についても、民間のノウハウの活用や財政負担の平準化といった観点から、有効な選択肢となり得るものと認識しています。</p> <p>今後の具体的な検討に当たっては、さまざまな手法を視野に入れながら検討してまいります。</p>
20	<p>第4章 公共施設の再編の方向性（40ページ）</p>	<p>現在の案は施設の複合・集約化を中心に考えられているが、建築費が高騰し、市庁舎の建て替えもままならない現状を鑑みると、現実的な指針とは言い難く、具体的な検討まで相当な年数を要するものとする。</p> <p>しかし、実現ハードルが高い複合施設ありきではなく、市民サービス向上のために出来ることはもっと身近にあるのではないかと。老朽化した「施設」は廃合しつつ、身近なサービスの「拠点」を増やすことで、財政負担の軽減と市民サービスの向上を両立できるのではないかと。</p> <p>指針の改善を検討する際には、以下の3点を提案したい。</p> <p>【民間商業施設の間借り】 近隣の国分寺市や府中市は駅前の商業ビルの中に行政サービスの窓口を設けている。 小金井市でもソコラや駅前再開発の計画時に、そのような交渉が可能な機会があったのではないかと。 今後は民間の開発動向の流れを注視し、市の財政負担を軽減しつつサービス拠点を増やすことを期待する。</p> <p>【図書館機能の分散配置】 既存の公共施設など身近な場所にミニ図書館スペースや</p>	<p>本方針（案）は、公共施設全体の在り方の方向性を示すものです。集約化・複合化については、既存施設の有効活用や機能の整理を含め、将来の更新時期等を見据えながら段階的に検討していく考え方を示しています。</p> <p>【民間商業施設の間借り】 官民連携の一手法として有効な可能性があるかと認識しており、今後の民間開発の動向等も踏まえながら、財政負担の軽減と利便性向上の観点から研究してまいります。</p> <p>【図書館機能の分散配置】 図書館機能の在り方については、運営体制やサービス水準との関係も踏まえ、今後研究してまいります。</p> <p>【親子の居場所作り】 ご提案いただいております施設は、それぞれの設置目的に基づき運営していることから、用途変更については検討が必要です。今後、個別施設の具体的な検討の中で、役割や利用実態等を踏まえ判断してまいります。</p> <p>今後も実現可能性を十分に見極めながら、持続可能な施設体系の構築に取り組んでまいります。</p>

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
		<p>予約図書を受け取り窓口や無人ロッカーなどを置くことで、図書館を新築・改築するよりもはるかに低コストに図書館の拠点を増やすことができる。</p> <p>【親子の居場所作り】 現状、乳幼児が遊べる屋内施設は保健センターなど、駅遠の立地にしかなく子育て支援が十分とはいえない。</p> <p>① 駅前でアクセスしやすい宮地楽器ホールの稼働率が低い空間（例・マルチパーパススペースD）に簡易的なキッズスペースを設ける</p> <p>② 公民館・集会所の一部を乳児と保護者の休憩・交流スペースとして転用する</p> <p>上記のように低コストで実現する施策も方針内に盛り込むことで、足元から一歩ずつ市民サービスが向上することを願う。</p>	
21	第4章 公共施設の再編の 方向性（40ページ）	<p>学校施設を地域コミュニティの核とするという考え方を、より明確にしていってほしい。</p>	<p>本方針（案）は、市全体の公共施設を「エリア最適」の視点からそれぞれの地域における役割や機能の在り方を整理することとしており、特定の施設類型を一律に「核」と位置付けるのではなく、地域特性や既存施設の配置状況、利用実態等を踏まえながら、その地域にとってふさわしい機能配置を検討していく考えです。</p> <p>したがって、学校施設が地域コミュニティにおいて重要な役割を担うことは認識しておりますが、本方針（案）においては、特定の施設に限定せず、各エリアにおける多様な公共施設の機能連携を図る中で、地域コミュニティの充実を目指してまいります。</p>

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
			<p>なお、小金井市学校施設長寿命化計画改定版（案）では、学校施設の役割として、子どもたちが幅広い知識と教養を身に付け、道徳心にあふれ、健康で人間性豊かに成長できる場であることに加え、災害時の避難場所や地域コミュニティの中核施設としての役割が示されており、施設整備にあたっては、教育環境の質の向上を図るとともに、地域資源としての活用の可能性にも配慮する必要があるとしています。</p>
22	その他	<p>社会福祉協議会2F会議室に最低月一回通っている者ですが、2Fにあがるのに巾の広い階段は両手が使えないので片側の手すりにつかまって昇り降りしなければならない。これを左手でつかまって、もう片方は杖を使っている。あと何年ガマンしなければならないのか。以前、この階段からころげおちた人がいる。そこであわてて両側に手すりをつけたと聞いている。高齢者・障害者にとって非常に使いにくい…。私は現在78歳だがあと何年ももちこたえられるか…。</p>	<p>社会福祉協議会は、市が直接所管する公共施設ではございませんが、今後新庁舎・（仮称）新福祉会館に移転を予定しているところであり、新庁舎・（仮称）新福祉会館建設に向けて取り組んでおります。</p> <p>新庁舎・（仮称）新福祉会館建設につきましては、建設資材高騰、働き方改革や技術者不足による人件費単価の高騰による工事費の高騰及び建設工事の発注量増加等の建設市場の動向により、全国的に公共工事の入札中止が増加しています。本市においても施工業者を選定するための入札が2回に渡り中止となりました。</p> <p>引き続き、建設市場の動向を注視し、早期建設を目指して現設計による3回目の入札に向けた準備を進めてまいります。</p>

※提出された意見は、原則として全文を掲載します。